

2024年10月25日

エネルギーウィズグループの温室効果ガス排出削減目標が SBTi に承認されました

エネルギーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:吉田誠人)およびそのグループ会社^{※1}の温室効果ガス排出削減目標が SBTi^{※2}に承認されました。

エネルギーウィズグループは、マテリアリティの一つとして「地球環境課題、社会課題を解決するビジネスの推進」を掲げており、その一環として温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。今後も承認された温室効果ガス排出削減目標の達成の為、省エネ活動の推進、再生可能エネルギーの導入・購入、再生材料の採用拡大などの取り組みを進め、地球環境保全、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

・SBTi に承認されたエネルギーウィズグループの温室効果ガス排出削減目標

項目	2030年度までの温室効果ガス排出削減目標(2018年度比)
Scope1、Scope2 ^{※4}	50.4%削減(1.5℃水準 ^{※5})
Scope3 ^{※4}	30.0%削減

SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

- ※1 エネルギーウィズグループ会社 : エナジーシステムサービスジャパン株式会社 (日本)
Thai Energy Storage Technology Public Company Limited (タイ)
CSB Energy Technology Co., Ltd. (台湾)
- ※2 SBTi : Science Based Targets initiative
CDP(国際 NGO)、UNGC(国連グローバルコンパクト)、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4つの機関が共同で運営する SBT^{※3}の認定機関
- ※3 SBT : Science Based Targets
企業が気候科学に基づき設定する温室効果ガス排出削減目標
- ※4 Scope1 : 事業者自らによる 温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2 : 他社から供給された電気、熱 蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3 : Scope1 ,Scope2 以外の間接排出
- ※5 パリ協定の求める水準(産業革命前からの世界の気温上昇を2℃以下に抑える水準)をさらに下回る1.5℃に抑えることを目指すものであり、SBTi の求めている水準

以上

エネルギーウィズ株式会社は 2021 年 12 月、昭和電工マテリアルズ株式会社 (現株式会社レゾナック) の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで 100 年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エネルギーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 AKS ビル pr@energy-with.com